

日本光学会第 164 回幹事会議事録

日 時： 2001 年 9 月 21 日（金） 13：30～17：00

場 所： 応用物理学会会議室

出席者： 岩田幹事長，以下 27 名

議 事：

1. 前回幹事会議事録に関する質問事項

- ・前回議事録に関する質問等はなく，議事録は承認された。

2. 報告事項

2-1. 編集委員会関連報告

(1) 「光学」編集委員会報告

- ・投稿件数が減ってきている。現在 1 号あたり 1.5 件程度である（最低でも 2 件/号程度にはしたい）。採択率も減っており，併せて向上をはかりたい。
- ・現在編集委員長の任期は 1 年であるが，継続性が要求されることから，編集委員経験者の中から選任し 2 年の任期としたい。具体的には次回幹事会で提案の予定である。
- ・50 周年記念特集号の進捗は順調であり，記事は 10 月中にはすべて揃う予定である。
- ・50 周年記念号を新入会員に配布してはどうかという意見が出たが，CD-ROM のプレス単価がまだわからないので（2 月ごろ明らかになる予定）金額が確定次第審議することとなった。

(2) 「OR」編集委員会報告

“OPTICAL REVIEW”は順調に発刊している。

2-2. 講演会関連報告

(1) サマーセミナー報告

- ・今回，1 泊参加や非宿泊枠を設けたが，おおむね好評であった。
- ・企画時点では IT 不況前であり，多数の参加者を見込んだが，実際にはここ数年と同様の 35 名であった。参加者は少なかったものの，逆に参加者と講師のコミュニケーションをはかることができ，好評であった。
- ・光学分野と情報通信分野の交流をはかることができたことをきっかけとして，フォトニックネットワークの開かれた時限研究グループを作りたいとの声があがった。

(2) Optics Japan 2001 進捗報告

- ・7 月末で講演受付を終了した。一般講演受付数は 186 件であった。
- ・予稿集の原稿などは，すでに印刷会社に送付済み。

- ・光学第 30 巻第 9 号に参加募集，プログラムを掲載した。
- ・現在 1 件の講演取り消しがあり，代役を依頼した。また連絡が取れず取り消しの可能性がある講演が 1 件あり，代役を立てる準備を進めている。

- ・7 月 8 日にプログラム委員会を開催し，セッション配置，大枠の講演配置などを決定した。また，委員会の場で 50 周年記念のイベントの企画と記念品の作成が提案された。

- ・9 月 6 日に実行委員会を開催し，予算案や当日までの役割分担等の審議を行った。

- ・今後は 10 月 10 日に実行/プログラム委員会，大会前日（11 月 2 日）に実行委員での打ち合わせが予定されている。

(3) カラーフォーラム JAPAN 2001 進捗報告

- ・11 月 13～15 日に開催予定。36 件の論文が集まり，口頭 31 件，ポスター 5 件，および招待講演 5 件のプログラムを組んだ。またチュートリアルとして，「実務経験 2～3 年の方のためのカラービジネス用上級基礎講座」を初日に行う。参加募集案内を各学会誌に掲載予定。

(4) 平成 13 年度関西講演会進捗報告

- ・11 月 26 日（月）に，大阪市立大学文化交流センターホールで「微細加工技術による光学素子の作製」をテーマに開催することにした。参加申込の締切は 11 月 16 日（金），定員は 100 名。

- ・2 件の講演プログラムが決定した。

(5) 平成 13 年度日本光学会北陸・信越講演会進捗報告

- ・テーマを「先端フォトリソ技術，米百俵の地から～新物質・新構造，極限計測から，ベンチャー事業まで～」とし，11 月 5 日に開催予定。
- ・開催予定日が OJ 2001 と重なるため，変更が可能なら，開催日を見直すこととした。

(6) 第 28 回冬期講習会進捗報告

日程と 9 件の講師が確定した。

(7) 第 35 回光学五学会関西支部連合講演会進捗報告

- ・テーマを「光と環境」（仮題）とし，平成 14 年 2 月 8 日（金）に大阪市立大学文化交流センターで開催することが決定した。
- ・仮題である講演題目の中に企業名が入れているものがあるが，特定の企業を宣伝することになるため，不適切ではないかとの意見が出て，確認することとした。

(8) ICO 2004 の開催について

- ・9月1日の打ち合わせで、日本光学会主導で、可能ならインターオプトと併せて幕張で行うこと、既存の研究会や国際会議等とのジョイントを検討することとした。

(9) ICOSN 2001 について

- ・決算資料が出された。
- ・今回は広告宣伝不足のため、EUからの参加者が少なかったが、今後国際会議についてはPRをきっちり行う必要があるとのコメントが出た。

(10) 光学シンポジウム報告

- ・第27回光学シンポジウムの開催場所、日時を仮決定した。開催日は2002年6月20日、21日で、場所は今年度開催し施設面、交通の便で好評であった工学院大学を使用。なお、本決定は工学院の学内行事が確定(3月ごろ)してからとなる。
- ・例年にならい、Optics Japan 2001から広報活動を行う予定。
- ・実行委員には次年度の新任幹事も含まれるため、幹事の人選を早めに行い、参加できるようにしてほしいとの要請があった。
- ・第26回光学シンポジウムの決算資料が出された。

2-3. その他報告事項

(1) ICOの加盟について

- ・ICOへの加盟申請を7月に行ったところ、日本光学会の国際活動についての問い合わせがあり、ICOでの貢献やORの出版、国際会議の開催等の活動について、レスポンスをした。9月に開催されたICO委員会で朝倉利光ICO前会長が出席して説明を行った。2002年に開催されるICO総会で加盟が正式に決定される予定である。

(2) 協賛依頼

11件あり、すべて承認された。

(3) 会員動静

12名の微増となった。

(4) 光学会資料室利用状況について

利用勧奨アピールの結果、利用数がやや増加し、4月から9月の半年間に、日本光学会として9件、応用物理学会として14件の利用があった。

(5) 量子エレクトロニクス連携協議会の報告

- ・国際会議開催など、レーザー・光関係諸学会が連携して事項を協議する場として、7月7日に設立のための準備委員会が開催された。次回委員会は11月20日ごろ開催の予定。
- ・協議会委員案では黒田先生となっていたが、幹事長のほうがよいのではという意見があった。

(6) SPIEとの協定について

SPIEとの協定については、返事に関して時間が欲しいとのことであり、現在報告はきていない。

(7) 韓国光学会との協定について

- ・韓国光学会との協定に関しては、8月に署名をすませ、協定を結んだ。
- ・協定の原本に関しては光学会資料室に保管することとする。
- ・協定文は「光学」に掲載予定。併せてWebにも掲載することとする。
- ・協定内容にある「講演会などの案内」に関しては、OJの案内は送ることとする。その他の講演会に関しては、案内が日本語しかないため、当面は見送ることとなった。
- ・会員レートで双方の雑誌を購読できるようにするために、会誌の価格を決定する必要があるが、応用物理学会と相談の上、原案を作成し、次回幹事会に提案予定。

(8) 応用物理学会関係報告事項

- ・応用物理学会代議員として、伊東一良先生、中橋末三先生、大木裕史氏を推薦済みである。
- ・9月4日に応用物理学会理事会が開催され、学生A会員の会費改定、ICOへの加盟申請が承認された。
- ・応用物理学会会員に対する日本光学会からのアンケートを依頼したところ、対象人数を減らす方向で応用物理学会理事会内で再審議することとなった。
- ・9月13日に行われた分科会幹事長会議で、理事会承認を要する分科会役員範囲については幹事長のみとすることが決定された。また、予算編成スケジュールが示された。

(9) 将来計画委員会報告

想定するビジョンを作成しそれを基に検討中であるが、まだ報告できるレベルまでには至っていない。

(10) その他の報告

- ・日本分光学会50周年記念式典(7/24)に幹事長が出席した。
- ・SPIE Asia-Pacific Cooperation Discussion(7/29)に石井国際協力担当委員が出席した。

3. 審議事項

(1) 2002年度予算案

- ・次年度予算案が示され、承認された。
- ・Webページ作成などのスポット的なアルバイト代を予算の中から出すことができるのかとの質問に対し、臨時雇賃金などの枠から出すことが可能であるとのコメントがあった。

(2) 冬期講習会予算案

- ・予算案が提示され、承認された。
- ・予算額は山上会館の使用料分だけ増加となっている。
- ・宿泊費は支払わないとする交通費規定に抵触するため、予算案では「宿泊補助費」とされているが、実状に合わないため、交通費規定を変更することを今後検討することとなった。

(3) OJ 2001 予算案

- ・OJ 2001 予算案が示され承認された。
- ・海外からの参加者に対して支払う海外支援金について、宿泊場所が未定の人について、宿泊費が確定しているのはおかしいとの意見が出た。
- ・50 周年記念品を作成することとなった。

(4) メーリングリスト利用依頼

光設計研究グループから ODF 2002 の案内をメールで出したいとの依頼があり、承認された。

(5) 日本光学会規則改定

前回幹事会で承認された B 会員の値下げに伴う規則文の改定案が示され、承認された。

(6) OJ 2002 の開催について

- ・開催日を 2002 年 11 月 2 日～4 日、開催場所を東京農工大学とする案が示され、承認された。
- ・休日に開催すると、企業から参加しにくくなるのではないかとの意見が出たが、長期的に検討していくこととなった。

(7) 次期幹事案

- ・次期幹事案が示され、承認された。
- ・次期 OJ 実行委員長が幹事である必要があるか、との意見が上がり、長期的の方針を見据えながら、今後の進め方と合わせ、将来問題委員会等の場で検討していくこととなった。

次回幹事会は、11 月 16 日（金）13：30～ 日本光学会資料室

平成 13 年度第 2 回常任幹事会

2001 年 11 月 16 日（金）に日本光学会資料室において開催されました。「光学」,「OR」の編集委員会報告, Optics Japan 2001, カラーフォーラム JAPAN 2001, 平成 13 年度関西講演会, 北陸信越講演会, 平成 13 年度名古屋講演会, 冬期講習会, 光学五学会関西支部連合講演会等の講演会関連の報告および審議, 光学論文賞, 2002 年度予算案, 幹事選挙, 次期幹事等について報告, 審議がなされました。なお, 詳しい幹事会議事録は第 31 巻第 3 号に掲載予定です。

第 200 回「光学」編集委員会

2001 年 11 月 14 日（水）に(財)日本学会事務センター学会共同編集室において開催されました。第 31 巻第 6～7 号企画, 第 31 巻第 8～11 号・第 32 巻第 4 号構想案について審議が行われました。また委員長任期の延長, 第 31 巻第 11 号発刊状況, 飛び込み解説記事, 新委員の推薦等について審議がなされました。そのほか, 各号進捗状況, 論文投稿・審査状況, 会計, 幹事会等について報告がなされました。

ODF 2002 Tokyo (3rd International Conference on Optics-Photonics Design & Fabrication)

日本光学会光設計研究グループと SPIE Japan Chapter は光学・フォトンクス設計と製造に関する国際学会 ODF 2002 Tokyo を開催します。光学・フォトンクス設計と製造に関する科学的・技術的な研究成果についての講演を募集しています。奮ってご応募ください。

期 日： 2002 年 10 月 30 日～11 月 1 日

場 所： 日本科学未来館（東京都江東区青海）

主 催： 日本光学会（応用物理学会）光設計研究グループ, SPIE Japan Chapter

後 援： 日本光学会（応用物理学会）, SPIE-The International Society for Optical Engineering

協 賛： Optical Society of America, European Optical Society, International Commission for Optics, Optical Society of Korea, Chinese Optical Society, IEEE/Lasers & Electro-Optics Society, 電子情報通信学会, 日本オプトメカトロニクス協会, 応用光学懇談会, 画像電子学会, 精密工学会, エレクトロニクス実装学会, 日本物理学会

募集内容： 下記分野のトピックスに関する新しい研究で未発表のもの。

レンズ/回折光学素子/偏光素子/フォトリソグラフィ/光導波路/光学薄膜/マルチプレクサー/デマルチプレクサー/光 MEMS/レーザー/光増幅器/光ファイバー通信/情報処理光学/光記録/顕微鏡/照明光学系/リソグラフィ/光プリンター/3 次元ディスプレイ/光シミュレーションに関する理論, 設計, 製造, 評価, 応用など。

応募資格： なし。どなたでも応募できます。

発表方法： 口頭講演もしくはポスター（英語での発表になります）

講演申込方法： 35 ワード以内のアブストラクトと図・表を含め A4 版サイズ 2 ページ以内の原稿（いずれも英

文) を下記宛てにお送りください (縮切り必着のこと)。

〒210-8582 川崎市幸区小向東芝町 1 (株)東芝研究
開発センター表示材料・デバイスラボラトリー
村上照夫

電話 044-549-2219 Fax 044-520-1255

E-mail: teruo.murakami@dx.toshiba.co.jp

締切: 2002年5月17日必着 (アブストラクト・原稿)

詳細問合せ/Call for Papers 請求先:

詳細は Call for Papers を参照ください

オリンパス光学工業(株)光学技術部 樋田博文

電話 0426-91-8089 Fax 0426-91-7573

E-mail: htsuchida@ot.olympus.co.jp

ホームページ:

<http://annex.jsap.or.jp/OSJ/meet/ODF2002/index.html>

光設計研究グループ第25回研究会「光設計における最適化手法」

日時: 2002年2月15日(金) 10:50~17:20

場所: 日本科学未来館7階会議室2 (<http://www.miraikan.jst.go.jp/>)

新交通ゆりかもめ「船の科学館」駅下車, 徒歩5分,
「テレコムセンター」駅下車, 徒歩4分

プログラム:

- 1) 照明光学系の最適化について
牛山善太 (タイコ)
- 2) 自由曲面を用いた光学系の設計手法
中村 透ほか (オリンパス光学工業)
- 3) 自由曲面ミラー方式走査光学系
吉川智延ほか (松下電器産業)
- 4) 累進屈折力レンズの最適化設計
小松 朗 (セイコーエプソン)
- 5) 計算機支援によるホログラムの最適設計
粟辻安浩ほか (京都工芸繊維大)
- 6) 新しい視点によるレンズシステムの最適化
中川治平 (中川レンズデザイン研究所)
- 7) 自動設計時代の写真レンズ設計について
平川 純 (旭光学工業)

主催: 日本光学会 (応用物理学会) 光設計研究グループ (代表: 伊藤良延 (ニコン))

参加費: 光設計研究グループ会員 4,000円, 光設計研究グループ学生会員 無料, 一般 10,000円, 学生一般 2,000円。

当日, 受付けにてお支払いください。

定員: 80名 (定員になり次第締切ます)

参加申込: 氏名 (フリガナ), 所属, 住所, 電話, Fax, 参加区分 (光設計研究グループ会員/学生会員/一般/学生一般) を記入の上, E-mail または Fax または郵送にて下記申込先にお送りください。申込用紙が必要な方は下記ホームページからも入手できます。

申込先: キヤノン(株)光学技術研究所 高精密光学技術センター光学11設計室 石井弘之

〒321-3231 宇都宮市清原工業団地 23-10

電話 028-667-5711 (代表) Fax 028-667-9325

E-mail: ishii.hiroyuki543@canon.co.jp

問合せ先: (株)ニコン映像カンパニー第二開発部第三設計グループ 芝山敦史

〒140-8601 東京都品川区西大井 1-6-3

電話 03-3773-6200 Fax 03-3773-1208

E-mail: shibayama.a@nikon.co.jp

ホームページ: <http://annex.jsap.or.jp/OSJ/kenkyu-g/r-gn.html#RG7>

光ネットワークに関する国際シンポジウム (CPT 2002)

期日: 2002年1月15日(火)~17日(木)

場所: 東京国際フォーラム (東京都千代田区丸の内 3-5-1)

光ファイバー・ネットワーク, 通信設備, 材料・部品技術などの最先端トピックスについて, 国内外の第一線研究者が研究成果を発表します。紹介される技術は, オプティカルネットワーク, MEMS, 光ネットワーク, DWDM 技術, レーザーとアンプ, 光ルーティング, デバイス, 光通信ネットワーク, フォトニクスクリスタルなどです。詳しくはホームページ <http://www.cpt2002.com/> をご覧ください。

問合せ先: CPT 運営事務局(株)ILCC 気付 (浅井/鈴木)

〒107-0025 東京都港区赤坂 2-17-44

電話 03-5562-3661 Fax 03-5562-3666

E-mail: cpt2002@ilcc.com

日本光学会 *news* の掲載申込み先：

〒226-8502 横浜市緑区長津田町 4259 番地 東京工業大学大学院総合理工学研究科電子機能システム専攻 伊藤治彦 電話 045-924-5459 Fax 045-924-5588 E-mail: ito@ae.titech.ac.jp

なお、掲載申込みは原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで、開催日が1~10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

日本光学会平成13年度幹事 (*常任幹事)

幹事長：	岩田 耕一* (大阪府立大)	
副幹事長：	中橋 末三* (東京工芸大)	
前幹事長：	山口 一郎 (理研)	
庶務幹事：	大谷 幸利* (農工大)	塩川 孝紳* (旭光学)
	門野 博史* (埼玉大)	大瀧 達朗* (ニコン)
	中野 隆志* (産総研)	竹ノ内弘和* (NTT)
	伊藤 治彦* (東工大)	中井 武彦* (キャノン)
『光学』編集幹事：	堀 裕和* (山梨大)	岩井 俊昭 (北大)
	尾松 孝茂 (千葉大)	谷田 純 (阪大)
『OPTICAL REVIEW』編集・出版幹事：	一岡 芳樹* (奈良高専)	山口 一郎 (理研)
国際協力幹事：	高橋 信明 (防衛大)	石井 行弘 (能開大)
将来問題担当幹事：	山本 公明 (オリンパス)	黒川 隆志 (農工大)
	中島 啓幾 (早大)	
企画・事業担当幹事：	山田 秀則 (富士ゼロックス)	野崎 昭俊 (コニカ)
	高梨 健一 (リコー)	木村 茂治 (日立)
	橋本 信幸 (シチズン時計)	岩瀬扶佐子 (古河電工)
	森 峰生 (鈴鹿医療科学大)	志村 啓 (日立ハイテクノロジーズ)
	相津 佳永 (室蘭工大)	佐藤 学 (山形大)
	大高 真人 (福井大)	藤原 巧 (長岡技科大)
	栗村 直 (分子科学研)	塩野 照弘 (松下電器)
	早崎 芳夫 (徳島大)	森 邦彦 (鹿児島大)